

モザンビーク プロサバンナ計画とそれに抗する小農民たち

12.14 講演会

講師 渡辺直子さん (日本国際ボランティアセンター (JVC) 南アフリカ事業担当)



写真は南アフリカ民衆法廷において掲げられた横断幕「略奪を止める、アフリカは売り物ではない」

プロサバンナ計画は、日本のODA事業のひとつで、アフリカ南部のモザンビークにおいて企業による大規模農業開発を支援する一大プログラムです。しかしこの事業はさまざまな問題を含んでいるとして、モザンビークの農民などから大きな批判と抵抗を受けています。今回の講演会では日本国際ボランティアセンターの渡辺直子さんよりプロサバンナ計画の現状とこれに抗する農民の営みなどについて話していただきます。また実行委員会よりエクアドル・インタグにおける鉱山開発事業の現在についても報告します。開発は誰のためのものか、開発計画プロセスのあり方、etcについて考える機会になればと思っています。みなさんのご参加をお待ちいたします。

講演「モザンビーク・プロサバンナ計画とそれに抗する小農民たち」

渡辺直子さん (日本国際ボランティアセンター JVC)

報告「森と共に生きる住民たち—エクアドル・インタグ鉱山開発の現在」

—井リツ子 (インタグ実行委員会)



渡辺直子さんプロフィール

日本国際ボランティアセンター (JVC) 南アフリカ事業担当兼地域開発グループマネージャー。
大学卒業後、ボランティア活動をしながら海外を放浪、その後イギリスの環境保護 NGO 勤務などを経て、2005 年南アフリカ事業担当として JVC へ。2013 年からモザンビークに足を運び、現地の農民たちと日本のODAや現地で起きている土地収奪等に対する調査・政策提言活動を行う。

エクアドル・インタグ SOS キャンペーン

2017. 12.14 THU

同志社大学・今出川キャンパス・良心館 305 番教室 (RY305)

京都・烏丸今出川 市営地下鉄「今出川」駅

開場 18:00 開始 18:30

資料代 1000 円 (学生無料)

主催「インタグの鉱山開発を考える」実行委員会

<http://intagcampaign.web.fc2.com/index.intag.htm>

問い合わせ 075-601-6409 (一井)

